



TITLE:

表紙・投稿規定・編集後記・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1980, 34(4): 363-365

ISSUE DATE:

1980-07-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/90126>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
昭和55年7月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第34巻 第4号

vol. 34 no. 4

物性研究

1980/7

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように処置をとって下さい。上ツキ、下ツキ、英字の大、花文字、ギリシャ文字、oとaと0(ゼロ)、uとnとr、cとe、l(エル)と1(イチ)、xと×(カケル)、uとv等を赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるものを原稿に添えて下さい。図の縮尺、拡大は致しません。1頁(13×19cm²)以内に入らない図、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図、表の説明は別紙に書き、本文中に挿入位置を赤で明示して下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. **別刷は原則として作りません。**どうしても別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を**50部単位**で申込んで下さい。別刷代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷1頁の代金 3円

b : 製本代(別刷1部につき) 30円

別刷代 = (ap + b)x + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月10日で原則として次月発行誌に掲載されます。

ニュース

〔北海道大学理学部〕

○ 談話会

- ・ 5月29日 “強磁性金属中の不純物核の Hyperfine interaction ”
金森順次郎氏 (阪大理)
- ・ 6月12日 “低いスピン高スピン転移と磁性” 近角聡信氏 (東大物性研)
- ・ 6月26日 “2次元電子系のアンダーソン局在” 福山秀敏氏 (東大物性研)

〔東京大学教養学部〕

○ セミナー

- ・ 5月 9日 “K Shell double ionization by fast ion bombardment ” 大塚氏 (東大・理)
- ・ 5月16日 “磁場中の超流動 ^3He ” 長谷川泰正氏 (東大・教養)
- ・ 5月23日 “ Lattice Gauge Theory ” 米谷民明氏 (北大・理)
- ・ 5月30日 “遷移金属中の不純物の電子状態” 寺倉清之氏 (東大・物性研)

〔東京大学物性研究所〕

○ 談話会

- ・ 5月19日 “ Photon Echoes for Every One ” S. R. Hartmann (Columbia Univ.)
- ・ 5月26日 “アルカリ金属をインターカレートした層状物質の性質”
F. X. Eder (バイエレン科学アカデミー)

○ 土曜セミナー

- ・ 5月10日 “縮退半導体の負の磁気抵抗” 川畑有郷 (学習院大・理)
- ・ 5月17日 “スピングラスの基底状態” 田中文彦 (東大・理)

〔名古屋大学・理学部〕

○ 談話会

- ・ 5月24日 “ Current Activities in Metallic Glasses in Poland ” Dr. H. Hatyja (Poland)
- ・ 5月31日 “ Use of the Rietveld Method for Comparisons of Synthetic Apatites and Dental Enamel ” Prof. R. A. Young (Georgia Institute)
- ・ “二次元におけるアンダーソン局在と負の磁気抵抗” 長岡洋介氏 (基研)

ニュース

[大阪大学理・基礎工学部]

○理学部物理談話会

- ・昭和54年10月19日 「結晶変形と電子状態」 邑瀬和生(阪大理)
- ・ 11月9日 「超伝導と磁気秩序」 奥田喜一(阪大理)
- ・昭和55年2月15日 「原子共鳴線における非線型光学現象」 斎宮清四郎(阪大理)
- 6月6日 「2次元電子系の話」 安藤恒也(筑波大・物工)
- 5月16日 「物質と光の相互作用 — ポラリトンの話」

本河光博(阪大理)

○基礎工学部固体物理セミナー

- ・昭和54年9月11日 「Super lattices」
G. Döhler (max-Planck-Institute für Festkörperforschung)
- ・ 9月27日 「Impurity states in heavily-doped Semiconductors」
K. A. Chao (Linköping大, Sweden)
- ・ 10月17日 「液体³Heの核スピン整列」
ジョージオ・フロサッティ(フランス国立中央学院)
- ・ 11月7日 「Structure and efficiency of light-harvesting system in photo-synthesis」 R. S. Knox (Rochester大)
- ・ 11月9日 「非平衡開放系における相転移現象」 川久保達之(東工大理)
- ・ 11月12日 「分子進化の環境ゆらぎ」 松田博嗣(九大理)
- ・ 11月26日 「1次元反強磁性体の励起状態と中性子散乱」
斯波弘行(東大物性研)
- ・昭和55年2月12日 「マグネタイトの原子価揺動状態と molecular polaron」
山田安定(阪大教養)
- 4月9日 「Semimagnetic Semiconductors (HgMnTe, CdMnTe)」
J. Kossut (Inst. Phys. Polish Acad. Science)
- ・ 5月19日 「Very low temperature (mK region): noise thermometry by SQUIDs, Pt-NMR-thermometry: PrNi₅ demagnetization
F. Eder(バイエル科学アカデミー極低温中央研究所)
- ・ 6月3日 「臨界点近傍の液体金属の金属・非金属移転」
米沢富美子(京大基研)

編 集 後 記

今年も、祇園祭、大文字送り火、と京都の夏の風物が続きます。とは言うものの「今年は存続が危い」との報道が大きく出ました。編集子の実感としては年々盛んで感慨を新たにしているのですが、これは無責任な他所者の立場からでして、両行事を支えている住民の方々は大変で、祇園祭の中心・四条烏丸地域の住人は年々減る一方で、今年は遂に函谷鉾地域の住人がゼロになったとか。すでに殆んどの山鉾地域で、代って昼間住民となってきている商事会社や事務所の労働者が祭を支えるようになっている次第です。送り火の方は、住宅地ですからこの心配はないのですが、銀閣寺町の旧家で火床をひとつずつ分担されており、年間の薪集めや防火対策が大変な苦勞とのこと。おそらく一度でもよいから鴨川で涼みながら眺め故人を偲んでみたいと思われることもあるのでは、とも思います。ともあれ市民の悲願で今年も存続となり、鉾巡行の先頭に行く長刀鉾の稚子に大川橋蔵氏の子息が選ばれたとか 鴨川の床ではやし方の練習が始まったとか、うれしいニュースが時折伝えられています。

「物性研究」の方は、サボりがちのものも含めて、「町衆」はなんとか確保されているんですが、肝心の御神体の方が夏やせ続きで、毎度のことながら申しわけありません。どうか存続を議論するような事態に至らないよう、全国の読者の方々に御協力をお願いする次第です。

(H. T.)

物 性 研 究

第 34 卷 第 4 号
1980 年 7 月 20 日発行

発行人	長 岡 洋 介 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所 京都市左京区百万辺交叉点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物 性 研 究 刊 行 会 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

編 集 後 記

今年も、祇園祭、大文字送り火、と京都の夏の風物が続きます。とは言うものの「今年は存続が危い」との報道が大きく出ました。編集子の実感としては年々盛んで感慨を新たにしているのですが、これは無責任な他所者の立場からでして、両行事を支えている住民の方々は大変で、祇園祭の中心・四条烏丸地域の住人は年々減る一方で、今年は遂に函谷鉾地域の住人がゼロになったとか。すでに殆んどの山鉾地域で、代って昼間住民となってきている商事会社や事務所の労働者が祭を支えるようになってきている次第です。送り火の方は、住宅地ですからこの心配はないのですが、銀閣寺町の旧家で火床をひとつずつ分担されており、年間の薪集めや防火対策が大変な苦勞とのこと。おそらく一度でもよいから鴨川で涼みながら眺め故人を偲んでみたいと思われることもあるのでは、とも思います。ともあれ市民の悲願で今年も存続となり、鉾巡行の先頭に行く長刀鉾の稚子に大川橋蔵氏の子息が選ばれたとか 鴨川の床ではやし方の練習が始まったとか、うれしいニュースが時折伝えられています。

「物性研究」の方は、サボりがちのも含めて、「町衆」はなんとか確保されているんですが、肝心の御神体の方が夏やせ続きで、毎度のことながら申しわけありません。どうか存続を議論するような事態に至らないよう、全国の読者の方々に御協力をお願いする次第です。

(H. T.)

物 性 研 究

第 34 卷 第 4 号
1980 年 7 月 20 日発行

発行人	長 岡 洋 介 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所 京都市左京区百万辺交叉点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物 性 研 究 刊 行 会 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

講読規定

個人講読

1. 会費：当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるべく1年間分会費を御支払い下さい。
なお新規講読お申込みの場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

1年間の会費

1 st volume	2,340円
2 nd volume	2,340円
計	4,680円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。
(振替貯金口座 京都5312)
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。
3. 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols.以上の誌代を滞納された場合には、送本を停止することになっていますので御留意下さい。
4. 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受ける様になった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
5. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校・研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1冊 730円、1 Vol. 4,380円、年間 8,760円です。この場合、入会金は不用です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求、見積、納品書各何通必要なのかをお知らせ下さい。
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡：発行途上にある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。

雑誌未着の場合、発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物 性 研 究 34—4 (7月号) 目 次

○強磁性イジング薄膜のくりこみ変換.....	豊永昌彦.....	287
○結晶構造の体系的分類.....	細谷将彦.....	297
○講義ノート		
第5回 高密度物質と中性子星.....	G. Baym.....	315
○修士論文 (1979年度)		
結晶成長過程に関する試論—固相・液相界面の問題—.....	吉田宇一.....	335
○ニュース.....		363
○編集後記.....		365

物 性 研 究 34—4 (7月号) 目 次

○強磁性イジング薄膜のくりこみ変換·····	豊永昌彦·····	287
○結晶構造の体系的分類·····	細谷将彦·····	297
○講義ノート		
第5回 高密度物質と中性子星·····	G. Baym·····	315
○修士論文 (1979年度)		
結晶成長過程に関する試論—固相・液相界面の問題—·····	吉田宇一·····	335
○ニュース·····		363
○編集後記·····		365